

2026年1月13日

2026年1月19日 AI Piano Arrange の使用技術に誤りがあったため修正
楽譜 AI 技術のサイト URL を追記

ヤマハの最新技術を紹介する「Yamaha Tech Showcase in Yokohama 2026」 — 「YOXO FESTIVAL 2026」で音・音響技術を中心とした体験展示を実施 —

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、1月30日（金）・2月1日（日）に、横浜市で開催される「YOXO FESTIVAL 2026 ～横浜でみらい体験～」に出展します。YOXO FESTIVAL は、「横浜でみらい体験」をテーマに、多彩なイノベーターやクリエイターが一堂に会し、最先端技術や実証実験中のアイデア、ソリューションを出展・発表するイベントです。組織や業界の枠を越えて、新たなイノベーションやビジネス創出のきっかけが生まれる場でもあり、昨年は19会場で135ブースが出展しました。

今年は、「Yamaha Tech Showcase in Yokohama 2026」と題し、当社が研究・開発を進めている最新技術について、エンターテインメント性あふれるデモンストレーションを交えてご紹介します。



Yamaha Tech Showcase in Yokohama イメージ

<「Yamaha Tech Showcase in Yokohama 2026」概要>

開催日：2026年1月30日（金）・2月1日（日）

※1月31日（土）は休館のため実施しません。

会場：YOXO FESTIVAL サウンドテクノロジーエリア

横浜シンフォステージ（神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1-2）

入場料：無料

※時間・場所の詳細は公式サイトをご確認ください。

YOXO FESTIVAL 公式サイト：<https://yoxo-o.jp/yoxofestival/>

AI Piano Arranger

当社の「ピアノアレンジ版楽曲生成技術^{*1}」「MIDI-楽譜変換技術^{*2}」を組み合わせ、好きな曲を好みのレベルでピアノの楽譜を作成するAIを展示します。曲の音源をその場でAIが分析し、初級～上級まで希望のレベルに合わせて楽譜を生成します。出力された楽譜は、ピアノ音で聴くことも可能です。

楽譜 AI 技術：

<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/research/technologies/musical-score-ai/>



新感覚スマホ演奏アプリ

当社の「AI 合奏技術」を応用して開発した、キャラクターと一緒にセッションを楽しめるスマホアプリ（プロトタイプ）を展示します。スマホを操作するだけで楽器音が演奏され、さらにキャラクターが演奏に合わせて歌ってくれます。

AI 合奏技術：

<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/research/technologies/muens/>



ギタリスト気分を体感してみよう

当社のトランスアコースティック™ギターを用い、弦を弾かなくても音が鳴るギターを展示します。ギターの鳴り・振動といった、これまでは演奏者でしか感じえなかった気持ちよさを実際に体感していただき、まるで本当にギターを弾いているかのような気分を味わうことができます。

トランスアコースティック™ギター：

https://jp.yamaha.com/products/musical_instruments/guitars_basses/ac_guitars/ta_2024/index.html



立体音響の収録・試聴体験

当社が開発した立体音響収録用マイク（ViReal Mic）と、収録した音をヘッドホンで聞ける立体音響技術（ViReal for Headphones）を展示します。自分の声を立体音響で録音・試聴できるほか、オーケストラや環境音などの臨場感溢れるさまざまなコンテンツをお楽しみいただけます。

立体音響総合技術 ViReal®：

<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/research/technologies/vireal/>



バーチャルライブ体験

当社のヘッドホン向け仮想立体音響技術 Sound xR Core を用いた、バーチャルライブ演奏を楽しめるシステムを展示します。VR 空間上のライブ会場に入り、あたかも現地で参加しているかのようなリアルな没入感に入り込むことができます。

Sound xR Core: <https://cloud-solutions.yamaha.com/soundxr/>



木材と音

当社では、ギターやピアノなどのアコースティック楽器の設計・開発に向けて、木材についてさまざまなアプローチで研究・技術開発を進めております。アコースティック楽器は使う木材によって音が変わります。この違いを体感いただくために、木材だけが異なる複数の楽器を展示します。また、当社が培ってきた「音を操る材料技術」もあわせてご紹介します。



レコーディングワークショップ “音をデザインする”

楽器の木材などいろいろな素材を使って音を鳴らし、その場でレコーディングして“自分だけの音楽”を仕立てる体験ワークショップです。思いついたアイデアをそのまま音にしてみる、創作の楽しさをどなたでも手軽に味わうことができます。



♪ 「楽器の木」にはどんな音が隠れているのかな？
どんどん重ねて君だけの「音」を作ってみよう。

<当社の研究開発について>

当社は、本社拠点と首都圏の2拠点にて、先進性が高い領域や社会との共創が期待される領域における研究開発に取り組んでいます。さまざまな専門家が集結する本社の研究開発部門、音楽情報処理分野での新たな繋がり・取り組みを展開するMINA Lab（横浜シンフォステージ内）、アーティストや異業種との協業などに挑戦し続けるYamaha Sound Crossing Shibuya（渋谷サクラステージ内）。これらの拠点が連携しながら、新たな音楽トレンドの創出や楽器に関するイノベーションを推進しています。

<https://www.yamaha.com/ja/tech-design/research/>

- ※1 ピアノアレンジ版楽曲生成技術：音楽ファイルから、ピアノアレンジしたMIDIに変換します。
ポップス、ロックなどどんなジャンルの曲でも、曲全体の音を分析推定しピアノ演奏に適したメロディと伴奏を創り出します。
- ※2 MIDI - 楽譜変換：デジタル演奏情報（MIDI）を、人が理解しやすい自然な楽譜データ（MusicXML）の形式に変換します。

* 文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤歩 TEL. 053-460-2210
ウェブサイト https://www.yamaha.com/ja/news_release/（取材申し込みや広報資料請求が可能です）